平成27年度
ノート型パソコン及びデスクトップ型パソコン仕様書

仕様書	区分	数量	納入期限
仕様書（２）	デスクトップ型パソコン （所属共用情報系用）	45台	平成27年 10月30日（金）

山形県企画振興部情報企画課

仕様書（2） デスクトップ型パソコン調達仕様書 （所属共用情報系用）

パソコン及び付属品は新品であり、以下の仕様を満たすものであること。

項　目	仕　様
CPU	コア数が 2 以上、動作クロックが 2.2GHz 以上、3 次キャッシュが 3MB 以上の性能を有すること。
メインメモリ	DDR2-SDRAM 又は DDR3-SDRAM とし、容量:4GB 以上であること。 （特記事項）・増設での対応も可。
HDドライブ	内蔵方式で容量 500GB 以上であること。 （特記事項）・Cドライブを 200 GBとし、残りをDドライブにすること。 ・C、DドライブともNTFSフォーマットすること。
DVDドライブ	DVD スーパーマルチドライブに対応であること。（ブルーレイ対応の有無は問わない。） （特記事項）・媒体へのライティングソフトがインストールされていること。（インストールメディアを添付） ・MPEG-2 デコーダを搭載し、DVD-Video の再生が可能なソフトがインストールされていること。
ビデオ RAM	最大 512MB 以上であること。 （特記事項）・メインメモリと共用可。
LAN	100BASE-TX 及び 1000BASE-T に対応していること。
インターフェイス	LANコネクタ(100BASE-TX 以上)×１の空きがあること、 USB2.0（もしくは 3.0）×２以上の空きがあること、 アナログRGB(ミニ D-sub 15 ピン)×１以上であること。
キーボード	JIS標準配列準拠109キーボード で、USB 接続であること。
マウス	光学式、又はレーザー式で、ホイール付であること。
ディスプレイ	TFT カラー液晶 17 インチ（解像度 1280×1024 以上、1670 万色以上表示） （特記事項）・10 台
OS	Microsoft Windows7 Professional 32bit 版 （特記事項）・Microsoft Windows7 Professional は Microsoft Windows8.1Pro のダウングレードにより対応すること。 ・納入時点で最新のサービスパック及びパッチが適用されていること。
アプリケーション	以下のアプリケーションをインストールすること。 Internet Explorer 11、 Windows Live Mail 最新版、 Adobe Reader 最新版、 Adobe Flash Player 最新版、 Windows Media Player 最新版、 Java Runtime Environment 7.40 Microsoft Office Standard 2007（Service Pack3） ※Outlook は削除すること Adobe Acrobat XI 、Mozilla Firefox 最新版 OpenOffice.org 3.2.1 （特記事項）・Microsoft Office Standard 2007 のライセンスは、県で別途取得済み。（インストール用メディアは情報企画課より貸し出します。） ・日本語版であること。 ・納入時点で、最新のサービスパック及びパッチが適用されていること。 ・インストール及び設定(アクティベーションを含む)のうえ納入すること。 ・ゲームはアンインストールすること。 ・OpenOffice.org インストール用メディアは情報企画課より貸し出します。
IME	Microsoft IME Microsoft Office IME 2007(Microsoft Office 2007 をインストールするパソコンのみ。) （特記事項）・その他にプレインストールされている日本語入力補助ソフトウェアがある場合は、削除すること。 ・既定の IME は「Microsoft IME」とすること。
ウイルス対策ソフト	McAfee SaaS Endpoint Protection ライセンスは、県で別途取得済み。 インストール用メディアは情報企画課より貸し出します。 リカバリ媒体には含めないこと。※一台ごとインストールの必要があります。

筐体の外形寸法	120(W)×410(D)×360(H)mm 以下であること。
電源	AC 100V 対応
セキュリティ	モデム及び無線LANを搭載していないこと、又は機能しないこと。
環境項目	グリーン購入法に基づく調達の基本方針(判断の基準)を満たしていること。

※OS のダウングレードに必要な情報等については、別途指示する。
※アプリケーションについて、最新版が Windows 7 Professional を対象 OS としていない場合は、
情報企画課と調整のうえ、Windows 7 Professional を対象 OS とするバージョン内で最新のものをインストールすること。
※上記のほか、「納入条件等」の内容を満たすこと。

納入条件等

1　別添【パソコン設定項目一覧】のとおり設定のうえ、以下に示す場所に納入すること。ただし、【パソコン設定項目一覧】については、調達までに変更する可能性があるため、事前に情報企画課に確認を取ること。

山形市松波二丁目8番1号　山形県庁 15 階　企画振興部情報企画課

2　納入前に、別途指示する日までに、別添【パソコン設定項目一覧】のとおり設定を施したマスターパソコンを作成し、動作確認を行ったうえで、情報企画課の確認を受けること。

3　2の確認後、OS及びアプリケーションをインストール、ネットワーク設定した状態への復元イメージを格納したリカバリ媒体を作成すること。リカバリ媒体は、パソコンが動作不良となった場合など、パソコン起動時にパーテーション分割設定を含め、パソコンが復元できるものであること。併せて、復元手順書及びリカバリ媒体の動作に必要な装置等をリカバリ・キットとして納入すること。

4　納入時に製造番号、MACアドレス等を別途提示する様式によりエクセルデータとして提供すること。また、別途指示するコンピュータ名は、ディスプレイ下側及び収納する箱の外側にシールを貼付すること。

5　日本語版の取扱説明書及び保証書等を納入すること。なお、保証書については、一つの箱にまとめて入れる等の方法でひとまとめにした上で納入すること。

6　3～5の付属品等は、次表のとおり納入すること。

No	品　名	納 入 先	数　量	備　考
①	リカバリ・キット	情報企画課	3 セット	リカバリ媒体、復元手順書、リカバリに必要な装置等一式
②	Adobe Acrobat XI Standard マスターディスク	情報企画課	1 枚	
③	納入品のエクセルデータ	情報企画課	1部	データ内容は別途指示する
④	取扱説明書	情報企画課	3 部	・紙媒体の場合、残部があれば可 ・電子媒体の場合、コピーでも可
⑤	保証書	情報企画課	一式	
⑥	その他付属品一式	情報企画課	3 セット	標準で付属するもの一式(再セットアップ媒体、アプリケーション媒体など)

7　納入物品の保証については、物件購入契約約款第 12 条の規定によるが、製造事業者による保証がこれを超える期間を有する場合は、当該保証を併せて適用するものとする。

8　この契約における資源有効利用促進法に基づくパソコンの回収再資源化料金は発生しないものとする。

パソコン設定項目一覧

※記載の無い項目はデフォルト設定とする。特に断り無い項目は、アカウント「admin」および「user」の両方に設定すること。

区分	デスクトップ型パソコン（所属共用情報系用）

【ユーザーアカウント】

管理者	名前/administrator（ビルトインアカウント） パスワード/（パスワードは情報企画課で指示）で設定後　無効設定する ユーザはパスワード変更できる　パスワードは無期限 フォルダ「C:¥Users¥administrator」のプロパティ セキュリティーグループまたはユーザー名：「Administrator」、「SYSTEM」 「Administrator」、「SYSTEM」のアクセス許可：フルコントロール 所有者：「Administrator」 注「Administrator**s**」ではない
	名前/admin　パスワード/（パスワードは情報企画課で指示） ユーザはパスワード変更できる　パスワードは無期限　指定のイメージ画像を入れること。 フォルダ「C:¥Users¥admin」のプロパティ セキュリティーグループまたはユーザー名：「Administrators」、「SYSTEM」 「Administrators」、「SYSTEM」のアクセス許可：フルコントロール 所有者：「Administrators」
標準ユーザー	名前/user　パスワード/（パスワードは情報企画課で指示） ユーザはパスワード変更できる　パスワードは無期限　指定のイメージ画像を入れること。 フォルダ「C:¥Users¥user」のプロパティ セキュリティーグループまたはユーザー名：「Administrators」、「SYSTEM」、「user」 「Administrators」、「SYSTEM」、「user」のアクセス許可：フルコントロール 所有者：「Administrators」
ゲストアカウント	名前/guest（ビルトインアカウント）　有効・オフ　パスワード/なし ユーザはパスワード変更できない　パスワードは無期限 フォルダ「C:¥Users¥guest」が存在しないことを確認 － Guestでログインしない限りフォルダは作成されない
自動ログオン	自動ログオンは使用しない 「ファイルを指定して実行」で、“control userpasswords2”と入力、「ユーザーがこのコンピュータを使うには、ユーザー名とパスワードの入力が必要」にチェック

【ネットワーク】［admin」のみ

IPアドレス	DHCP（自動取得）
サブネットマスク	DHCP（自動取得）
デフォルトゲートウェイ	DHCP（自動取得）
DNSアドレス	DHCP（自動取得）
WINS	DHCP（自動取得）
サフィックス	pref.yamagata.jp
コンピュータ名	別途指示
ワークグループ名	pref

【日付と時刻】「admin」のみ

インターネット時刻	インターネット時刻サーバーと同期する／サーバー：int. pref. yamagata. jp

【デスクトップのカスタマイズ】

個人設定　テーマ	Windows7ベーシック
デスクトップの背景	admin：Windows 7　user：単色　青
デスクトップアイコン	admin：「コンピューター」「ネットワーク」「ごみ箱」
	user：「ユーザーのファイル」「コンピューター」「ネットワーク」「ごみ箱」
スクリーンセーバー	3Dテキスト／3分 admin：「再開時にログオン画面に戻る」のチェックはずす　user：「再開時にログオン画面に戻る」にチェック
設定－画面の解像度	1280x768以上

【デスクトップ画面】

作成するショートカット	admin：なし　user：「OpenOffice.org 3.2」「Windows Live　メール」「Internet Explorer」「Mozilla Firefox」

【システムのプロパティ】「admin」のみ

詳細設定	
パフォーマンス － 設定 － データ実行防止	「重要な Windows のプログラムおよびサービスについてのみ有効にする」にチェック
リモート	リモートアシスタンスを無効
	このコンピューターへの接続を許可しないを選択

【電源オプション】　「admin」「user]

プラン設定の編集	
ディスプレイの電源を切る	5分
コンピューターをスリープ状態にする	なし
システム設定	
スリープ解除時のパスワード保護	「パスワードを必要とする（推奨）」を選択
電源ボタンを押した時の動作	シャットダウン

パソコン設定項目一覧

区分	デスクトップ型パソコン（所属共用情報系用）

【アクセス権限】「admin」のみ

C：￥windows￥fonts	
セキュリティ	グループまたはユーザー名：Everyone 「Everyone」のアクセス許可：フルコントロール
D：￥	
セキュリティ	グループまたはユーザー名：Everyone 「Everyone」のアクセス許可：フルコントロール
D：￥Common	
セキュリティ	グループまたはユーザー名：Everyone 「Everyone」のアクセス許可：フルコントロール
共有 – 共有	Everyone　共有
詳細な共有	このフォルダーを共有する
E：￥　（DVD等のドライブ）	
セキュリティ	グループまたはユーザー名：Everyone 「Everyone」のアクセス許可：フルコントロール
共有 – 共有	Everyone　共有
詳細な共有	このフォルダーを共有する

【フォルダーオプション】

表示	
詳細設定	
ファイルとフォルダの表示	「隠しファイル、隠しフォルダー、または隠しドライブを表示しない」にチェック
	「登録されている拡張子は表示しない」のチェックをはずす 「別のプロセスでフォルダーウィンドウを開く」にチェック 「保護されたオペレーティングシステムファイルを表示しない（推奨）」にチェック

【アクションセンター】「admin」のみ

システムとセキュリティ	
アクションセンターの設定を変更	メンテナンスメッセージ　すべてチェックをはずす
ユーザーアカウント制御の設定	通知しない

【Windows　Update】「admin」のみ

システムとセキュリティ	
設定の変更	更新プログラムを確認しない

【Windowsファイアウォール】「admin」のみ

システムとセキュリティ	
通知設定の変更	Windowsファイアウォールを有効にする
Windowsファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する	ファイルとプリンター-の共有にホーム／社内（プライベート）、パブリックの両方ともチェック
	ヘルプデスクツールにホーム／社内（プライベート）、パブリックの両方ともチェック （Pallet Control インストール後に「ヘルプデスクツール」は追加される）

【ネットワークと共有センター】「admin」のみ

共有の詳細　－　ホームまたは社内	
ネットワーク探索	「ネットワーク探索を有効にする」を選択
ファイルとプリンターの共有	「ファイルとプリンター-の共有を有効にする」を選択
パブリックフォルダーの共有	「共有を有効にして、ネットワークアクセスがある場合はパブリックフォルダー内のファイルを読み書きできるようにする」を選択
ファイル共有の接続	「128ビット暗号化を使用してファイル共有の接続を保護する」を選択
パスワード保護共有	「パスワード保護の共有を無効にする」を選択
ホームグループ接続	「Windowsでホームグループ接続を管理できるようにする」を選択
共有の詳細　－　パブリック	
ネットワーク探索	「ネットワーク探索を有効にする」を選択
ファイルとプリンターの共有	「ファイルとプリンター-の共有を有効にする」を選択
パブリックフォルダーの共有	「共有を有効にして、ネットワークアクセスがある場合はパブリックフォルダー内のファイルを読み書きできるようにする」を選択
メディアストリーミング	デフォルトの無効設定を変更しない
ファイル共有の接続	「128ビット暗号化を使用してファイル共有の接続を保護する」を選択
パスワード保護共有	「パスワード保護の共有を無効にする」を選択

【既定のプログラム】

既定のプログラムを設定する	
Windows Liveメール	「すべての項目に対し、既定のプログラムとして設定する」を実行

【コントロールパネル】

表示方法	
大きいアイコン	
プログラムのアンインストール	ゲームや付属のセキュリティソフト等、不要なプログラムを削除
システムとセキュリティ	
システム	
Windowsエスクペリエンスインデックス	実行

パソコン設定項目一覧

区分	デスクトップ型パソコン（所属共用情報系用）

【Internet Explorer Ver.11.0】

全般		
	ホームページ	http://iww2.pref.yamagata.jp/
セキュリティ		
	Webコンテンツのゾーン&セキュリティレベル	インターネット／中　ローカルイントラネット／中低　信頼済みサイト／低　制限付きサイト／高
	ローカルイントラネットのサイト	「イントラネットのネットワークを自動的に検出する」のチェックを外す
		「ほかのゾーンに指定されていないローカル（イントラネット）のサイトをすべて含める」にチェックをいれる
		「プロキシサーバーを使用しないサイトをすべて含める」にチェックをいれる
		「すべてのネットワークパス（UNC)を含める」にチェックを入れる
プライバシー		
	設定	中
	ポップアップブロック	ポップアップ　ブロックを有効にする
	通知	ポップアップのブロック時に音を鳴らす/ポップアップのブロック時に通知バーを表示する
	フィルタレベル	中：ほとんどの自動ポップアップをブロックする
コンテンツ		
	コンテンツアドバイザー	無効
	個人情報－オートコンプリート	全てチェックを外す
接続		
	ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定	なし／ダイヤルしない
	LANの設定	
	自動構成	「設定を自動的に検出する」および「自動構成スクリプトを使用する」のチェックはずす
	プロキシサーバー	「LANにプロキシサーバーを使用する」にチェック／アドレス：ipx.pref.yamagata.jp　ポート：8080 「ローカルアドレスにはプロキシサーバーを使用しない」にチェック
	詳細設定　サーバー	「全てのプロトコルに同じプロキシサーバーを使用する」にチェック
	例外	i*.pref.yamagata.jp
詳細設定		
	設定	履歴およびお気に入りの使用しないフォルダーを閉じるにチェック
ツール		
	アドオンの管理	scriptproxy McAfee,Incを無効
インターネットオプション－コンテンツ－証明書		
	信頼されたルート証明機関	「Digital Arts Inc.CA」をインストールする

【Liveメール】「user」のみ

表示		
	レイアウト	「プレビューウィンドウを表示する」のチェックをはずす
Windows Liveメールボタン – オプション ― メール		
	読み取り	
	メッセージの読み取り	「次の時間プレビューするとメッセージを開封済みにする」のチェックをはずす
		「メッセージはすべてテキスト形式で読み取る」にチェック
	送信	
	送信	「[送信済みアイテム]に送信メッセージのコピーを保存する」にチェック
		「受信したメッセージと同じ形式で返信する」のチェックをはずす
	メールの送信形式	テキスト形式
Windows Liveメールボタン – オプション ― セキュリティのオプション		
	セキュリティ	使用するセキュリティゾーン　/ 制限付きサイトゾーン
		「ウィルスの可能性がある添付ファイルを保存したり開いたりしない」のチェックをはずす
Windows Liveメールボタン – オプション ― 電子メールアカウント		
	ディレクトリサービスアカウント	
	LDAPサーバの追加	ild2.pref.yamagata.jp
		「このLDAPサーバは、ユーザー名とパスワードによるログオンが必要のチェックをはずす」
		「手動でアドレス帳を確認する」を選択
	ild2.pref.yamagata.jp のプロパティ – 詳細設定 – 検索ベース	dc=pref,dc=yamagata,dc=jp　（ "," ドットではなく、カンマ）
アカウント－プロパティ－サーバー－送信メールサーバ		
	送信メールサーバ	「このサーバは認証が必要」にチェック

【Microsoft Office 2007】※2

インストール	
MS-Excel for Windows	マイコンピュータから全て実行
MS-Outlook for Windows	インストールしない
MS-PowerPoint for Windows	マイコンピュータから全て実行
MS-Word for Windows	マイコンピュータから全て実行
Office 共有機能	マイコンピュータから全て実行
Office ツール	マイコンピュータから全て実行

【Excel2007】

開発		
	マクロのセキュリティ	
	マクロの設定	マクロの設定：警告を表示してすべてのマクロを無効にする

【PowerPoint2007】

開発		
	マクロのセキュリティ	
	マクロの設定	マクロの設定：警告を表示してすべてのマクロを無効にする

【Word2007】

開発		
	マクロのセキュリティ	
	マクロの設定	マクロの設定：警告を表示してすべてのマクロを無効にする

パソコン設定項目一覧

区分	デスクトップ型パソコン（所属共用情報系用）

【MediaPlayer 最新版】※4

整理 - オプション		
	プレーヤー	「ローカルメディアファイルを再生するときライブラリに追加する」のチェックをはずす
		「インターネットに接続する（他のコマンドよりも優先）のチェックをはずす
	ライブラリ	
	ファイルのメディア情報の自動更新	「インターネットから追加情報を取得する」のチェックをはずす
	プライバシー	
	再生機能とデバイスの拡張	「インターネットからメディア情報を取得する」のチェックをはずす 「追加のメディア情報をインターネットから取得して音楽ファイルを更新する」のチェックをはずす
	コンテンツプロバイダーサービスの拡張	「一意のプレーヤーIDをコンテンツのプロバイダーに送信する」のチェックをはずす
	Windows Media Playerカスタマー エクスペリエンス向上プログラム	「マイクロソフトのソフトウェアおよびサービスの品質向上に役立てるため、 プレーヤーの使用データをマイクロソフトに送信する」のチェックをはずす
	セキュリティ	
	コンテンツ	「プレーヤーをWebページ内で使用しているときは、スクリプトコマンドとリッチメディアストリームを実行する」のチェックをはずす

【AdobeReader 最新版】※1

起動時に表示されるウィンドウ		
	ツール	表示されないようにする
編集－環境設定		
	JavaScript - JavaScript	「Acrobat JavaScriptを使用」のチェックをはずす
	インターネット－インターネットオプション	接続速度：LAN
自動アップデート機能		
	該当する機能	全て無効

【AdobeAcrobat 最新版】※1

編集－環境設定		
	JavaScript - JavaScript	「Acrobat JavaScriptを使用」のチェックをはずす
	インターネット－インターネットオプション	接続速度：LAN
自動アップデート機能		
	該当する機能	全て無効

【AdobeFlashPlayer 最新版】※1

Adobe Flash Player 最新版がインストールされていること		
自動アップデート機能		
	該当する機能	全て無効

【Mozilla Firefox 最新版】※1

Mozilla Firefox 最新版がインストールされ、一度起動し以下の操作を実施すること	
	Internet Explorer の設定をインポート
	既定のブラウザにせず、「既定のブラウザにする」ダイアログを再表示させないこと

【Java Runtime Environment (JRE) 7.40】※1

Java コントロールパネル－セキュリティ	「ブラウザでJavaコンテンツを有効にする」をチェック
	セキュリティレベルを「中」にする
自動アップデート機能	
該当する機能	全て無効

【OpenOffice.org 3.2.1】※2

インストール	
インストールの種類	フルインストール（オプションも全て）

※ インストール完了後、情報企画課が提供する設定バッチファイルを実行すること。

【ウイルス対策ソフト】

インストール
情報企画課が指定するウイルス対策ソフトをインストールすること（別途指示あり）

※1 最新版をインストールするソフトウェアについて、この一覧に記載する項目が無い場合は、
その項目に相当する設定を行い、情報企画課の指示に従うこと。

※2 OpenOffice.orgを先にインストールしその後にMicrosoftOfficeをインストールすること
（OfficeファイルがOpenOffice.orgに紐付けされてしまうため）